

# DCダイワ中小型株ファンド

## 運用報告書（全体版） 第16期

（決算日 2021年8月30日）

（作成対象期間 2020年9月1日～2021年8月30日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国の中小型株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ中小型株マザーファンドの受益証券
	ダイワ中小型株マザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）している中小型株式
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックス(配当込み)		株 組入比率	株 先物比率	純 資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(ベンチマーク)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
12期末(2017年8月29日)	20,908	0	33.0	813.98	28.9	95.4	—	442
13期末(2018年8月29日)	23,947	0	14.5	892.01	9.6	91.9	—	889
14期末(2019年8月29日)	21,065	0	△12.0	762.51	△14.5	91.9	—	661
15期末(2020年8月31日)	31,063	0	47.5	843.44	10.6	92.3	—	789
16期末(2021年8月30日)	39,879	0	28.4	1,016.62	20.5	95.5	—	1,076

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスは、Russell/Nomura 日本株インデックスのサイズ別指数です。

Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスは、Russell/Nomura Total Market インデックスの時価総額下位銘柄からなり、全時価総額の約50%を占めます。

Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社およびRussell Investmentsに帰属します。なお、野村證券株式会社およびRussell Investmentsは、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当該インデックスを用いて行なわれる委託会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

(注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

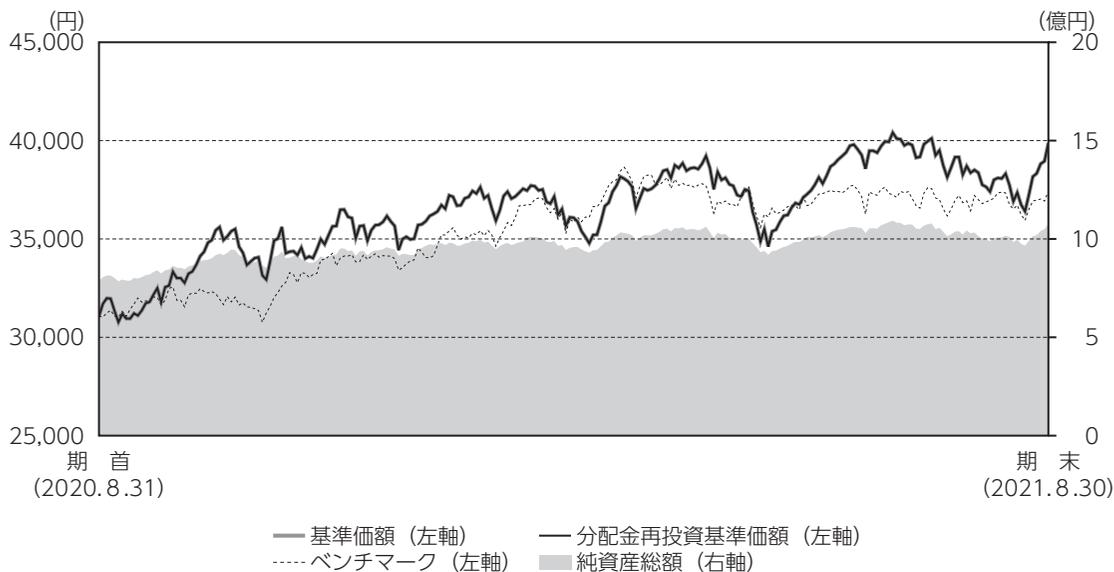
(注4) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- \* ベンチマークは、Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックス（配当込み）です。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：31,063円

期末：39,879円（分配金0円）

騰落率：28.4%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ中小型株マザーファンド」の受益証券を通じてわが国の株式に投資した結果、国内株式市況が上昇したことから、基準価額も上昇しました。くわしくは「投資環境について」および「ベンチマークとの差異について」をご参照ください。

DCダイワ中小型株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックス(配当込み)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率			
(期首) 2020年 8月31日	円 31,063	% -	843.44	% -	% 92.3	% -
9月末	33,011	6.3	865.74	2.6	91.4	-
10月末	33,145	6.7	835.25	△ 1.0	93.0	-
11月末	35,657	14.8	913.28	8.3	95.3	-
12月末	35,746	15.1	931.75	10.5	92.7	-
2021年 1月末	35,929	15.7	940.33	11.5	92.3	-
2月末	35,668	14.8	957.88	13.6	92.0	-
3月末	37,726	21.4	1,025.36	21.6	94.0	-
4月末	37,234	19.9	994.92	18.0	94.4	-
5月末	37,280	20.0	996.38	18.1	93.4	-
6月末	40,405	30.1	1,011.05	19.9	95.4	-
7月末	38,363	23.5	989.1	17.3	94.2	-
(期末) 2021年 8月30日	39,879	28.4	1,016.62	20.5	95.5	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2020.9.1～2021.8.30)

### 国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首より、国内外の新型コロナウイルスの感染状況などに一喜一憂を繰り返す相場となり、横ばい圏で推移しました。2020年11月に入ると、米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前予想通りの当選確実となって選挙に対する不確実性が後退したことや、欧米において複数のワクチンが承認され接種が始まったことが好感され、株価は上昇しました。2021年に入っても、1月は米国ジョージア州における上院決選投票で民主党候補が勝利し、大統領府および上下両院共に民主党が制したことで大型経済対策などの政策の実現化が現実味を帯び、3月には実際に米国で追加経済対策が発表されたことが好感され、株価は強含みで推移しました。その後、5月には米国においてインフレ懸念が高まったこと、6月にはFOMC（米国連邦公開市場委員会）が発表した政策金利見通しから早期の利上げ観測が強まり米国金利が不安定化したことにより、株価が下落する場面があったものの、国内におけるワクチンの接種が順調に進展し始めたこともあり、株価は底堅く推移しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### 当ファンド

「ダイワ中小型株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ダイワ中小型株マザーファンド

米国大統領選挙の行方や米中関係など不透明感が強い状況にあり、また世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が継続していることもあって、経済活動回復のスピードは当初想定していたよりも緩やかです。一方、世界各国の中央銀行の超緩和的な金融政策の影響などから良好な需給環境が継続しており、ワクチン開発への期待感があることなどから、株式市場は一進一退の展開を想定しております。

このような環境の中、有望な銘柄を発掘しパフォーマンスの改善に努めてまいります。具体的には、新型コロナウイルスの感染拡大により恩恵を受ける通販、宅配サービス、テレワーク、通信教育などの銘柄や、5G（第5世代移動通信システム）をはじめとしたインフラ（社会基盤）投資関連銘柄、健康意識の高まりにより恩恵を受けるヘルスケア関連銘柄、アウトドア関連銘柄などに着目してまいります。

それ以外では、独自の製品・サービス等により中長期での成長が期待される銘柄、親子上場解消の動きから被買収企業となりそうな銘柄、自己株式の取得や増配など株主還元強化が期待される銘柄などにも着目し銘柄選定を行ってまいります。また、大幅に上昇した銘柄を売却し株価に出遅れ感のある銘柄との入れ替えを行う予定です。

## ポートフォリオについて

(2020.9.1～2021.8.30)

## ■当ファンド

「ダイワ中小型株マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

## ■ダイワ中小型株マザーファンド

株式組入比率については、当作成期を通じて90～99%程度で推移させました。業種構成につきましては、医薬品や化学などの比率が上昇し、情報・通信業や電機機器などの比率が低下しました。個別銘柄につきましては、当作成期中に株価が上昇したテレワーク、通信教育、宅配サービスなどに関連した銘柄の売却を行い、ヘルスケア関連銘柄、人材関連銘柄、リチウムイオンバッテリー用部材に関連した銘柄などの買い付けを行いました。

\*マザーファンドのベンチマークは以下の通りです。

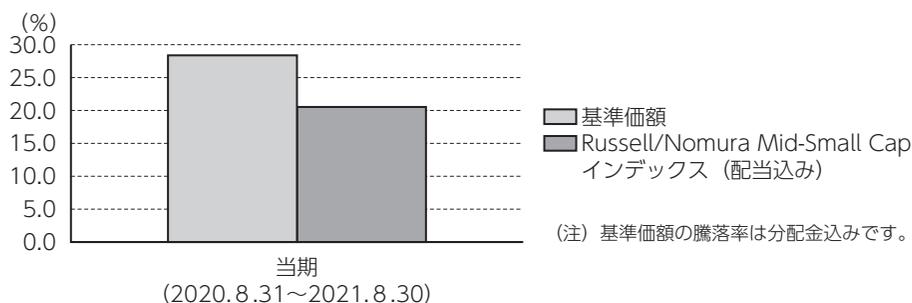
組入ファンド	ベンチマーク
ダイワ中小型株マザーファンド	Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックス (配当込み)

## ベンチマークとの差異について

当作成期のベンチマークの騰落率は20.5%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は28.4%となりました。

個別銘柄では、ニューラルポケットやティーケーピーなどマイナス要因となった銘柄もありましたが、セルソースやラクスルなどがプラスに寄与した結果、超過収益を得ることができました。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



\*ベンチマークはRussell/Nomura Mid-Small Cap インデックス (配当込み) です。

## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2020年9月1日 ～2021年8月30日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	29,878

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ中小型株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ダイワ中小型株マザーファンド

注目されたF R B（米国連邦準備制度理事会）のパウエル議長の講演を波乱なく通過したことから、株式市場は強含みの相場展開を想定しています。国内政治における不確実性の高まりや、米国および中国の経済指標の一部に弱さが見られる点はリスク要因であり注意が必要ですが、その一方、国内の新型コロナウイルスワクチン接種が着実に進展していることを背景として、日本株の出遅れも意識されやすい局面と考えられます。

このような環境の中、株価が上昇した銘柄や業績の伸びの鈍化が想定される銘柄を売却し、今後の業績回復が期待される銘柄や株価に出遅れ感のある銘柄を買い付けるなど銘柄の入れ替えを行い、パフォーマンスの改善に努めてまいります。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2020.9.1~2021.8.30)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	608円	1.667%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は36,484円です。
(投 信 会 社)	(288)	(0.790)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(288)	(0.790)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(32)	(0.088)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	284	0.778	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(284)	(0.778)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.005	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(2)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	894	2.450	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

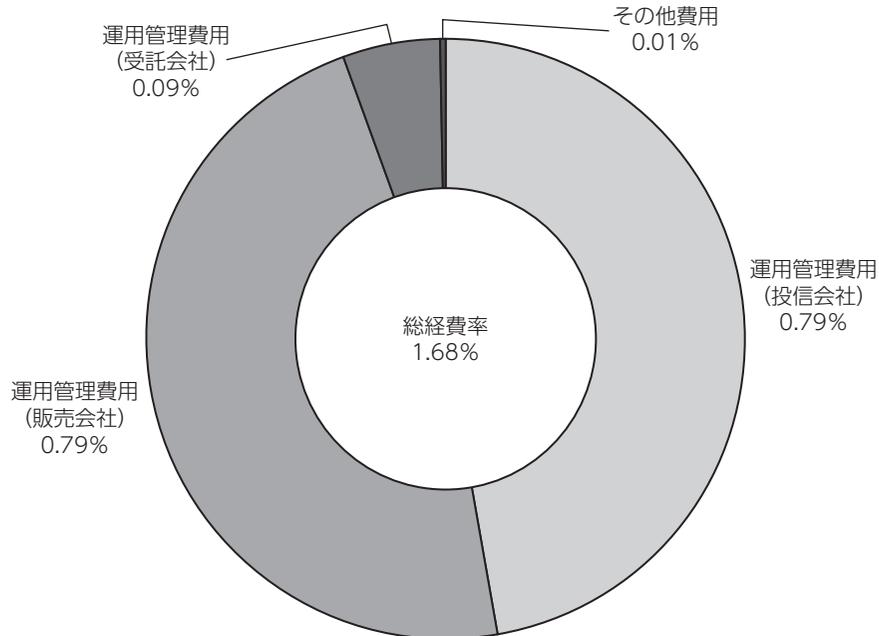
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.68%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## DCダイワ中小型株ファンド

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年9月1日から2021年8月30日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ中小型株マザーファンド	73,782	389,375	66,014	349,887

(注) 単位未満は切捨て。

### ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年9月1日から2021年8月30日まで)

項 目	当 期
	ダイワ中小型株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	8,515,445千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,453,506千円
(c) 売買高比率(a)÷(b)	5.85

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

#### (1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

#### (2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2020年9月1日から2021年8月30日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
株式	百万円 4,268	百万円 1,515	35.5%	百万円 4,246	百万円 1,383	% 32.6
コール・ローン	23,292	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合62.3%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

#### (3) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

(2020年9月1日から2021年8月30日まで)

種 類	当 期
	ダイワ中小型株マザーファンド
	買 付 額
株式	百万円 18

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

#### (4) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2020年9月1日から2021年8月30日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	7,537千円
うち利害関係人への支払額 (B)	2,591千円
(B)÷(A)	34.4%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

### ■組入資産明細表 親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ中小型株マザーファンド	175,766	183,534	1,075,290			

(注) 単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2021年8月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ダイワ中小型株マザーファンド	千円 1,075,290	% 99.1
コール・ローン等、その他	10,123	0.9
投資信託財産総額	1,085,414	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年8月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,085,414,060円
コール・ローン等	10,123,872
ダイワ中小型株マザーファンド(評価額)	1,075,290,188
(B) 負債	9,077,293
未払解約金	568,471
未払信託報酬	8,480,866
その他未払費用	27,956
(C) 純資産総額(A-B)	1,076,336,767
元本	269,902,776
次期繰越損益金	806,433,991
(D) 受益権総口数	269,902,776口
1万口当り基準価額(C/D)	39,879円

\*期首における元本額は254,141,603円、当作成期間中における追加設定元本額は192,275,381円、同解約元本額は176,514,208円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は39,879円です。

## ■損益の状況

当期 自2020年9月1日 至2021年8月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,436円
受取利息	382
支払利息	△ 1,818
(B) 有価証券売買損益	177,785,014
売買益	241,498,238
売買損	△ 63,713,224
(C) 信託報酬等	△ 16,171,347
(D) 当期損益金(A + B + C)	161,612,231
(E) 前期繰越損益金	95,131,176
(F) 追加信託差損益金	549,690,584
(配当等相当額)	( 299,034,040)
(売買損益相当額)	( 250,656,544)
(G) 合計(D + E + F)	806,433,991
次期繰越損益金(G)	806,433,991
追加信託差損益金	549,690,584
(配当等相当額)	( 299,034,040)
(売買損益相当額)	( 250,656,544)
分配準備積立金	256,744,843
繰越損益金	△ 1,436

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	161,612,989
(c) 収益調整金	549,690,584
(d) 分配準備積立金	95,131,854
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	806,435,427
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	806,435,427
(h) 受益権総口数	269,902,776口

## ダイワ中小型株マザーファンド

### <補足情報>

当ファンド（DCダイワ中小型株ファンド）が投資対象としている「ダイワ中小型株マザーファンド」の決算日（2021年3月29日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2021年8月30日）現在におけるダイワ中小型株マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

### ■ダイワ中小型株マザーファンドの主要な売買銘柄 株 式

（2020年9月1日から2021年8月30日まで）

買		付			売		付		
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価		
	千株	千円	円		千株	千円	円		
マクアケ	13.2	96,015	7,273	マクアケ	13.4	102,437	7,644		
ケアネット	22.5	95,822	4,258	ブイキューブ	32.6	83,117	2,549		
ブイキューブ	32.6	88,897	2,726	フルヤ金属	10.3	78,173	7,589		
フルヤ金属	10.3	71,388	6,930	T D K	5.1	76,290	14,958		
オイシックス・ラ・大地	20.8	68,373	3,287	ケアネット	15.2	72,948	4,799		
Sansan	7.6	67,328	8,858	アンリツ	28.8	70,537	2,449		
ニューラルポケット	10.1	63,789	6,315	オイシックス・ラ・大地	20.8	67,465	3,243		
GMOフィナンシャルゲート	3.6	57,413	15,948	プロレド・パートナーズ	16.3	62,060	3,807		
ティーケーピー	17.7	55,685	3,146	GMOグローバルサインHD	6.4	60,119	9,393		
ローツェ	5.9	54,990	9,320	オープンハウス	12.7	56,551	4,452		

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2021年8月30日現在におけるダイワ中小型株マザーファンド（287,881千口）の内容です。

国内株式

銘柄	2021年8月30日現在		銘柄	2021年8月30日現在		銘柄	2021年8月30日現在	
	株数	評価額		株数	評価額		株数	評価額
<b>建設業 (0.5%)</b>	千株	千円		千株	千円		千株	千円
テスホールディングス	4	8,044	ラクスル	9.2	51,336	サーキュレーション	5	19,075
<b>食料品 (1.6%)</b>			ミンカブ・ジ・インフォノイト	4.6	18,837	共立メンテナンス	2.4	8,808
ヤフルト	1.4	8,876	Sansan	3.5	39,200			
ヨシムラ・フード・HLDGS	22.5	16,942	Link-U	10.4	16,775	合計	623.3	1,611,715
<b>化学 (6.7%)</b>			CHATWORK	30	35,160	銘柄数<比率>	79銘柄	<95.6%>
マクアケ			JMDC	3	16,080			
昭和電工	1.5	3,724	J TOWER	2.4	17,184			
旭有機材	0.1	148	ピザスク	2	8,390			
恵和	10.3	49,388	SPEEE	7	33,390			
扶桑化学工業	6.4	29,088	日本ユニシス	11	32,516			
東洋合成工業	1.1	16,797	<b>卸売業 (6.3%)</b>					
メック	2.8	8,960	トーマンデバイス	3.4	16,881			
<b>医薬品 (8.4%)</b>			ダイワボウHD	9	18,648			
ソーせいグループ	28	49,840	マクニカ・富士エHL DGS	5.3	13,785			
セルソース	2.3	38,065	シークス	17.5	22,382			
モダリス	32	46,784	加賀電子	10	29,350			
<b>ガラス・土石製品 (1.2%)</b>			<b>小売業 (7.1%)</b>					
黒崎播磨	3.8	18,677	バルグループHLDGS	20	33,280			
<b>鉄鋼 (1.1%)</b>			ZOZO	4.6	19,136			
日本製鉄	4	8,674	BEENOS	5	15,325			
日本精線	1.9	9,386	コスモス薬品	1.2	23,412			
<b>非鉄金属 (3.0%)</b>			メディカルシステムネットワーク	5	3,970			
昭和電線HLDGS	21.2	48,251	交換できるくん	0.5	2,032			
<b>機械 (6.0%)</b>			しまむら	1.8	17,712			
日本製鋼所	3	7,698	<b>不動産業 (1.4%)</b>					
芝浦機械	14.7	38,528	ツクルバ	2.1	2,793			
ローツェ	5.9	49,796	SREホールディングス	2.7	20,223			
<b>電気機器 (5.5%)</b>			<b>サービス業 (18.7%)</b>					
イビデン	1.6	9,392	ミクシィ	6.4	15,904			
アドテックプラズマテクノ	5.2	8,418	アイティメディア	6.2	14,142			
ウシオ電機	17	33,762	ケアネット	7.3	46,501			
大真空	9.8	37,240	リソー教育	45	17,730			
<b>その他製品 (3.5%)</b>			Keeper 技研	4.3	15,157			
ニホンフラッシュ	12.6	16,115	アトラエ	13.5	36,180			
大日本印刷	15.4	40,209	ソラスト	6	9,000			
<b>情報・通信業 (29.1%)</b>			キャリアインデックス	25	26,150			
デジタルアーツ	3.7	31,635	ウェルビー	11.7	17,725			
エムアップホールディングス	5.4	16,443	ジーニー	3.2	3,254			
エニゴモ	26	37,986	ABホテル	6.8	8,105			
デジタルハーツHLDGS	4	7,644	プロレド・パートナーズ	0.7	1,649			
ヴィンクス	10.4	9,921	ジモティー	8.9	25,480			
ギガプライズ	0.3	349	ステムセル研究所	1.3	6,285			
マネーフォワード	2	17,120	ダイレクトマーケティングミクス	4.3	18,017			
GMOフィナンシャルゲート	1.7	32,249	表示灯	1	2,004			
ニューラルポケット	0.6	1,680	Enjin	2	9,760			
ENECHANGE	4.4	10,467						

(注1) 銘柄欄の( )内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。  
(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ中小型株マザーファンド

## 運用報告書 第16期 (決算日 2021年3月29日)

(作成対象期間 2020年3月31日～2021年3月29日)

ダイワ中小型株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

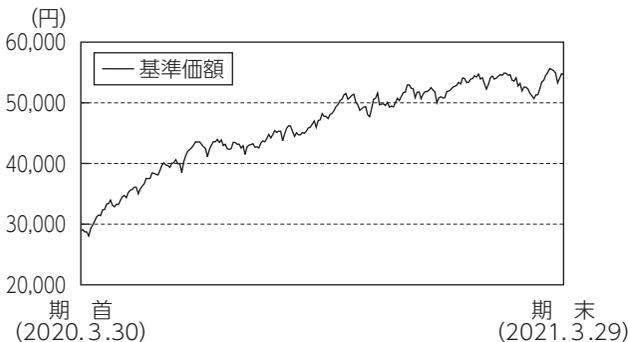
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	わが国の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）している中小型株式
株式組入制限	無制限

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックス (配当込み)		株式比率	株式比率
	円	騰落率	円	騰落率		
(期首)2020年3月30日	28,925	—	738.94	—	—	—
3月末	29,091	0.6	722.26	△ 2.3	94.6	—
4月末	34,722	20.0	754.91	2.2	94.3	—
5月末	38,871	34.4	818.7	10.8	96.2	—
6月末	42,742	47.8	814.73	10.3	93.8	—
7月末	41,492	43.4	777.09	5.2	94.1	—
8月末	44,867	55.1	843.44	14.1	92.4	—
9月末	47,750	65.1	865.74	17.2	91.5	—
10月末	48,010	66.0	835.25	13.0	93.1	—
11月末	51,726	78.8	913.28	23.6	95.4	—
12月末	51,927	79.5	931.75	26.1	92.8	—
2021年1月末	52,265	80.7	940.33	27.3	92.4	—
2月末	51,952	79.6	957.88	29.6	92.1	—
(期末)2021年3月29日	54,661	89.0	1,038.44	40.5	93.8	—

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスは、Russell/Nomura 日本株インデックスのサイズ別指数です。Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスは、Russell/Nomura Total Market インデックスの時価総額下位銘柄からなり、全時価総額の約50%を占めます。Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社およびRussell Investmentsに帰属します。なお、野村証券株式会社およびRussell Investmentsは、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当該インデックスを用いて行なわれる委託会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。  
 (注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直前で知り得るデータを使用しております。  
 (注4) 株式組入比率は新株予約権証券を含みます。  
 (注5) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】  
 期首：28,925円 期末：54,661円 騰落率：89.0%

【基準価額の主な変動要因】

わが国の株式に投資した結果、各国中央銀行の緩和的な金融政策や米国の経済回復への期待が高まったことを受けて株式市況が上昇したこと、また個別銘柄の選別が奏功したことなどから基準価額も上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。国内株式市況は、当期中期首より、欧米における新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、大幅に下落しました。下落一巡後は、主要国の中央銀行による金融緩和策や、新規感染者数がピークアウト

の兆候を見せた欧米で経済活動の再開が進展したこと、また国内でも2020年5月下旬に緊急事態宣言が全面解除されたことなどが好感され、6月上旬まで株価は上昇基調で推移しました。6月中旬以降は、日米における感染状況などに一喜一憂を繰り返す相場となり、株価は横ばい圏で推移しました。11月以降は、米国大統領選挙において民主党のバイデン氏が事前予想通りの当選確実となって選挙に対する不確実性が後退したことや、欧米において複数の新型コロナウイルスのワクチンが承認されて接種が始まったこと、さらに2021年1月には、米国ジョージア州における上院決選投票で民主党候補が勝利し、大統領府および上下両院共に民主党が制したことなどで大型経済対策などの政策の実現化が現実味を帯び、米国の経済回復への期待が高まったことなどが好感されて株価は上昇しました。2月後半には、米国における金利上昇への懸念で株価が弱含む局面があったものの、3月には米国の追加経済対策などによって同国の景気回復期待が高まったことが好感され、株価は強含みで推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

新型コロナウイルスの感染拡大を懸念し、世界的に株価は大幅に下落しました。中国での新規の感染者数は減少し回復者数は大幅に増加していますが、韓国、イラン、イタリアなどで急速に感染者数が増加しているほか、北米でも感染が拡大しており予断を許さない状況です。短期的には、感染の拡大を防ぐための経済活動への影響は避けられない状況にあります。

世界各国で株価が大幅に下落し新型コロナウイルスの影響を大きく織り込みつつある中で、今後は景気下支えのために世界各国が協調的な政策を採る可能性が高まっています。また、中国での生産活動の急速な回復などが下支え要因となることが期待されますが、さらなる感染の拡大の可能性もあり、相場は底値を模索し値動きの荒い展開となると想定しております。

このような環境の中、業績やバリュエーションにかかわらずほぼ全面安の状況となっていることから、有望な銘柄を発掘しパフォーマンスの改善に努めてまいります。具体的には、新型コロナウイルスの感染拡大により恩恵を受けるインターネット通販、宅配サービス、テレワーク、通信教育、ゲーム関連銘柄などや、業務効率化・省人化・AI（人工知能）・ロボット関連銘柄、5G（第5世代移動通信システム）、防災などのインフラ（社会基盤）投資関連銘柄などに着目してまいります。

◆ ポートフォリオについて

株式組入比率は、80%程度以上の高位を維持しました。業種構成は、サービス業などの比率を引き上げた一方、情報・通信業や小売業などの比率を引き下げました。個別銘柄では、市場の成長性、事業の競争力、経営者の資質などを勘案しメルソーズやオープンハウスなどの組入比率を引き上げました。

◆ ベンチマークとの差異について

当期中のベンチマーク（Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックス（配当込み））の騰落率は40.5%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は89.0%となりました。ベンチマークより健闘した背景として、各国中央銀行の緩和的な政策により、保有している新興市場銘柄の大幅かつ急峻な株価上昇が寄与した点や個別銘柄の選択による効果が挙げられます。個別銘柄では、ミンカブ・ジ・インフォノイド、マクアケ、弁護士ドットコムなどがプラス要因となりました。

《今後の運用方針》

国内では再び新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される状況ですが、グローバルでは、ワクチンの効果が顕在化しつつあること、米国での巨額の財政政策のメリットが期待されること、先進国の中央銀行が緩和的な政策の継続について言及していることなどから、企業業績の回復傾向は継続し、総じて堅調な相場展開が継続するものと想定しております。米国の長期金利の急激な上昇の影響が懸念されますが、金利の絶対水準の状況から影響は限定的と想定しております。

このような環境の中、有望な銘柄を発掘しパフォーマンスの改善に努めてまいります。具体的には、EV（電気自動車）、HEV（ハイブリッド自動車）、カーボンニュートラルなどの環境関連、業務効率化・省人化・AI（人工知能）・ロボット関連銘柄、5G（第5世代移動通信システム）などの投資テーマに着目してまいります。

# ダイワ中小型株マザーファンド

## ■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式)	425円 (425)
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	425

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## ■主要な売買銘柄 株式

(2020年3月31日から2021年3月29日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘柄	柄	株数	金額	平均単価	銘柄	柄	株数	金額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
マクアケ		13.7	93,954	6,858	マクアケ		13.2	112,296	8,507
ティーケーピー		33.2	84,478	2,544	A I I N S I D E		3.1	105,021	33,878
T D K		5.8	71,450	12,319	メルカリ		28	97,657	3,487
GMOグローバルサインHD		8.9	69,573	7,817	アンリツ		34.1	83,253	2,441
A I I N S I D E		2.6	69,483	26,724	弁護士ドットコム		8.4	83,043	9,886
ラクスル		20.3	62,352	3,071	アドバンテスト		13.3	81,176	6,103
大真空		26.8	59,477	2,219	GMOグローバルサインHD		8.9	79,847	8,971
ニューラルポケット		9.1	59,027	6,486	太陽誘電		17.8	72,764	4,087
太陽誘電		17.8	55,179	3,099	ミンカブ・ジ・インフォノイト		37.6	70,274	1,868
B E E N O S		20.9	53,618	2,565	ティーケーピー		30.3	66,993	2,210

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表 国内株式

銘柄	期首			当期末			銘柄	期首			当期末			銘柄	期首			当期末				
	株数	株数	評価額	株数	株数	評価額		株数	株数	評価額	株数	株数	評価額		株数	株数	評価額	株数	株数	評価額		
	千株	千株	千円		千株	千株	千円		千株	千株	千円		千株	千株	千円		千株	千株	千円			
<b>建設業 (3.1%)</b>																						
日揮ホールディングス	—	34.9	48,092				東洋合成工業	0.4	—	—									東京鐵鋼	—	1	1,981
<b>食料品 (2.7%)</b>							メック	—	3.5	8,417									新日本電工	18	—	—
エスビー食品	0.3	—	—				日本高純度化学	2.4	2	6,000									日本精練	—	3.5	12,897
ヨシムラ・フード・HLDS	—	35.9	35,828				日本農業	10.5	10.5	5,890									<b>非鉄金属 (0.5%)</b>			
AFC-HDアルムスライフサイエン	—	6	6,552				有沢製作所	2.3	—	—									日本軽金属HD	—	3.6	7,995
北の達人コーポ	9.2	—	—				レック	21.4	—	—									<b>金属製品 (0.5%)</b>			
<b>繊維製品 (1.1%)</b>							<b>医薬品 (3.9%)</b>												トーカロ	0.1	—	—
東レ	—	23.1	16,581				ロート製薬	6.5	—	—									SUMCO	0.1	—	—
<b>化学 (7.1%)</b>							セルソース	—	5.1	61,098									RS TECHNOLOGIES	0.5	1.3	7,995
昭和電工	—	13.2	41,382				<b>ガラス・土石製品 (1.5%)</b>												<b>機械 (8.0%)</b>			
日本曹達	—	9.4	34,075				日本コンクリート	44	19.1	8,022									日本製鋼所	—	3	7,848
旭有機材	—	4.9	7,795				黒崎播磨	—	3.2	15,936									芝浦機械	—	11.4	33,550
コーセー	—	0.5	8,115				<b>鉄鋼 (1.5%)</b>												オプトラン	12	—	—
							日本製鉄	—	4.4	8,269									タツモ	4.6	24.1	46,247

銘柄	期首			当期末			銘柄	期首			当期末			銘柄	期首			当期末		
	株数	株数	評価額	株数	株数	評価額		株数	株数	評価額	株数	株数	評価額		株数	株数	評価額	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円		千株	千株	千円		千株	千株	千円		千株	千株	千円		千株	千株	千円	
カワタ	3	3	2,760	リックソフト	2.4	—	—	ケアネット	—	7.4	34,114									
TOWA	—	16.5	34,650	ミカブ・ジ・インフォノイト	34	0.1	428	学情	0.1	—	—									
<b>電気機器 (9.2%)</b>				Sansan	—	3.9	38,727	スタジオアリス	4	—	—									
イビデン	4.4	3.2	16,160	CHATWORK	9.9	—	—	エムスリー	3	—	—									
芝浦メカトロニクス	—	3.1	17,236	HENNGE	7.7	—	—	エスプール	—	3.2	3,699									
HPCシステムズ	3.1	—	—	マクアケ	1.9	2.4	16,440	インフォマート	—	17.4	17,243									
アンリツ	13.2	—	—	モデル	12.7	—	—	プレスデー・ジ・インター	4.8	—	—									
TDK	—	2.2	34,188	JMDC	—	1.8	9,360	テイクアンドギヴニーズ	—	9.1	8,781									
アルプスアルパイン	—	0.3	445	スペースマーケット	2.7	—	—	エフアンドエム	—	9.7	15,044									
精工技研	0.7	—	—	AI INSIDE	0.5	—	—	弁護士ドットコム	0.1	—	—									
アドバンテスト	4.4	—	—	ジャストシステム	5.9	—	—	アイ・アールジャパンHD	0.1	—	—									
日本マイクロニクス	12	—	—	サイボウズ	5.5	—	—	Keeper 技研	5.9	8	18,832									
フェローテックHLDGS	—	14.6	30,879	ファイバークラウド	9.7	—	—	アトラエ	—	10.2	36,312									
アルパルデータ	—	2.2	8,184	スクウェア・エニックス・HD	2	—	—	キャリアインデックス	23.7	—	—									
山一電機	6.3	—	—	<b>卸売業 (3.6%)</b>				グリーンズ	—	19.6	11,622									
大真空	1.4	14.9	36,877	神戸物産	2.1	—	—	ウェルビー	—	2	3,058									
<b>精密機器 (2.0%)</b>				あいホールディングス	0.1	3.6	8,294	プロレド・パートナーズ	6.7	0.4	1,228									
インターアクション	—	13.7	31,921	cotta	21.2	—	—	グッドパッチ	—	5.7	17,214									
<b>その他製品 (4.8%)</b>				白銅	3.9	4.1	6,904	ダイレクトマーケティング	—	2.5	8,750									
パラマウントベッドHD	—	3.7	18,222	加賀電子	—	13.4	35,014	燦ホールディングス	6.5	—	—									
ニホンフラッシュ	17.6	11.6	16,124	パリュエンズHLDGS	—	2.2	5,623	東京都競馬	—	1.5	8,430									
フルヤ金属	0.6	6	40,800	<b>小売業 (10.3%)</b>				合計	株数、金額	623.7	658.5	1,571,818								
<b>電気・ガス業 (-)</b>				バルグループHLDGS	—	29.5	46,197	銘柄数<比率>	87銘柄	82銘柄	<93.8%>									
レノバ	26	—	—	MonotaRO	3.2	—	—	(注1) 銘柄欄の( )内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。												
<b>陸運業 (-)</b>				ZOZO	—	9.2	29,946	(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。												
SBSホールディングス	6.5	—	—	マーケットエンタープライズ	6	4.7	7,656	(注3) 評価額の単位未満は切捨て。												
丸和運輸機関	3	—	—	オイシックス・ラ・大地	11.2	2.7	7,724													
<b>情報・通信業 (20.5%)</b>				BEENOS	—	20.3	59,255													
NECネットエスアイ	4.2	—	—	コスモス薬品	1.4	—	—													
デジタルアーツ	0.5	—	—	メディカルシステムネットワーク	—	2.5	1,795													
パピレス	12	—	—	パンパシフィックHD	4.7	—	—													
エムアップホールディングス	0.4	—	—	薬王堂ホールディングス	3.9	—	—													
エニグモ	16.6	—	—	交換できるくん	—	1.7	9,299													
ブイキューブ	—	6.6	16,803	サンドラッグ	2.7	—	—													
オプティム	2.5	—	—	<b>保険業 (1.1%)</b>																
ウィンクス	—	28.6	31,917	ライフネット生命保険	29.7	—	—													
ギガプライズ	6.5	2.9	4,738	T&Dホールディングス	—	12	17,388													
朝日ネット	3.5	—	—	アドバンスクリエイト	1.7	—	—													
クラウドワークス	0.1	—	—	<b>その他金融業 (0.5%)</b>																
テラスカイ	3.8	—	—	Casa	16.8	—	—													
ダブルスタンダード	5.5	—	—	プレミアグループ	7.4	3.2	7,785													
マイネット	19.7	—	—	イー・ギャランティ	16.1	—	—													
チェンジ	0.1	—	—	<b>不動産業 (5.6%)</b>																
エイトレッド	4.2	—	—	SREホールディングス	—	7.4	32,227													
シェアリングテクノロジー	—	1.2	313	オープンハウス	—	10.2	46,512													
GMOフィナンシャルゲート	—	2.3	50,623	ティーケーピー	—	2.9	7,525													
ニューラルポケット	—	9.1	49,413	ジェイ・エス・ビー	2.3	—	—													
プレイド	—	2.3	8,441	GA TECHNOLOGIES	2.1	—	—													
ENECHANGE	—	4.6	21,643	毎日コムネット	6.6	—	—													
ラクスル	0.3	9.7	49,276	シノケングループ	1.8	1.8	2,268													
メルカリ	14.6	—	—	<b>サービス業 (12.7%)</b>																
アクリート	—	5.8	7,998	LIFULL	—	16	6,688													
システムサポート	—	9.9	15,770	アイティメディア	—	4.6	8,473													

## ダイワ中小型株マザーファンド

### ■投資信託財産の構成

2021年3月29日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	1,571,818	90.9
コール・ローン等、その他	158,301	9.1
投資信託財産総額	1,730,119	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年3月29日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,730,119,615円</b>
コール・ローン等	125,543,074
株式(評価額)	1,571,818,480
未収入金	30,820,561
未収配当金	1,937,500
<b>(B) 負債</b>	<b>54,670,762</b>
未払金	53,837,762
未払解約金	833,000
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>1,675,448,853</b>
元本	306,515,050
次期繰越損益金	1,368,933,803
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>306,515,050口</b>
<b>1万口当り基準価額(C / D)</b>	<b>54,661円</b>

\* 期首における元本額は310,253,273円、当作成期間中における追加設定元本額は129,583,524円、同解約元本額は133,321,747円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ中小型株ファンドV A 120,419,974円、DCダイワ中小型株ファンド186,095,076円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は54,661円です。

### ■損益の状況

当期 自2020年3月31日 至2021年3月29日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>7,906,634円</b>
受取配当金	7,931,781
受取利息	334
その他収益金	896
支払利息	△ 26,377
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>760,589,775</b>
売買益	922,897,514
売買損	△ 162,307,739
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 840</b>
<b>(D) 当期損益金(A + B + C)</b>	<b>768,495,569</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>587,151,011</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 470,734,253</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>484,021,476</b>
<b>(H) 合計(D + E + F + G)</b>	<b>1,368,933,803</b>
<b>次期繰越損益金(H)</b>	<b>1,368,933,803</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。